

週刊

# 愛知民報

2023年  
4月16日  
第2629号

発行所 日本共産党愛知県委員会  
〒460-0007 名古屋市中区新栄三丁目12番25号  
☎(052) 261-3461 (代表)  
(052) 251-2925 (編集部) F A X (052) 261-6063  
定価 月 400円 郵送料 336円 1部 100円  
毎週日曜日発行 (第5日曜日は休刊)

日本共産党

# 県議空白克服 しもおくさん当選

## 大村県政にモノが言え、 県民要求届ける議席が復活



愛知県議会の議席奪還を喜ぶしもおく奈歩さん(中央)と支援者ら=9日深夜、豊橋市

9日に投開票された県議選の豊橋市選挙区(定数5)で、日本共産党の、しもおく奈歩さんは前回4年前に失った議席を奪還しました。同党愛知県委員会が最大の目標として掲げた全国唯一の県議空白の克服ができました。しもおくさんは1万2008票(得票率11・6%)で、前回得票の1万2819票より減らしたものの、過去最低の投票率(35・10%)のもとで得票率では0・4%伸ばし、昨年の参院比例8437票から3571票伸ばし、得票率も5・7%前進させています。

同県議選に名古屋市西区選挙区(定数2)で議席回復をめざした前県議の、わしの恵子さんは、前回より617票を伸ばす8312票、得票率21・0%を獲得する大健闘をしましたが次点で及びませんでした。名古屋市緑区(定数3)の古川まことさんと、一宮市区(定数5)の、いたくら正文さん、新城市北設楽郡選挙区(定数1)の、あさお大輔さんも奮闘しましたが及びませんでした。

論戦では、県民の切実な願い実現を政策に掲げ、福祉切り捨ての大村県政に「モノ言える共産党県議が必要」と主張。岸田政権の大軍拡・大増税を批判し、これをすすめる自民・公明の与党に「平和の審判を」と訴えました。

### 名古屋市議選の結果

### 共産党 3議席に後退

9日に投開票された名古屋市議選で、日本共産党は16の行政区すべてに候補者を擁立しました。16候補のうち当選したのは、天白区(定数5)で田口かずとさん(5136票、得票率12・2%)、北区(定数5)で岡田ゆき子さん(5831票、同13・0%)、緑区(定数7)でみつなか美由紀さん(6316票、得票率12・2%)、北減)の現職、えがみ博之さんをはじめ13候補は議席に及びませんでした。論戦では、子ども医療費無料化が全国政令市の中でトップクラスなど、自公民の妨害をはねのけて市民とともに要求を実現する日本共産党議団の値打ちを語りました。物価高騰が生活を直撃しているもとで福祉のさらなる前進と、河村市長・減税日本が拒否している小中学校給食の無償化を日本共産党議席の獲得で実現しようと呼びました。



当選を喜ぶ田口かずとさんら119日、名古屋市中区

当選を喜ぶ岡田ゆき子さんら119日、名古屋市中区

当選を喜ぶ満仲美由紀さんら110日、名古屋市中区

2面 前半戦について日本共産党愛知県常任委員会の声明

4面 統一地方・後半戦の市町村のたたかひの特集